

旭公民館だより

発行 令和7年10月
旭公民館
館長 伊吹 公雄
電話 45-5903
FAX 45-5903

館長のおじゃまします

あめほしたまこども園 3歳児との交流会

楽しいひとときを過ごせました

中之町
さんさんサロン



あお組さんとサロンメンバーとのふれあい交流場面
「とても楽しい時間を過ごさせていただきました」😊

「なるほどなあ」と感心するとともに、人生経験豊富な高齢者とふれあうことで、子どもたちが普段とは違う何かを感じ取ることができたならば、幸いに思います。

中之町さんさんサロン（平岡美恵子サロン長）のメンバー14名が10月14日（火）、あめほしたまこども園（近藤玉枝園長）を訪問し、あお組3歳児23名と交流を行いました。

今年から始まった英語教室で習った「アーユスリーピング（Are You Sleeping?）」を歌うあお組さん。じいじ・ばあばにあいさつしてまわり握手や肩たたきをしたり、サロンのメンバーも「一度きんさい備後の中須」を歌ったり一緒に踊ったり、さらには企画委員の平岡道敏さんの紙芝居などをお返し、お互い楽しい時間を共有できたのではないのでしょうか。

最後、近藤園長の「子どもたちが話をよく聞いていて、今日はびっくりしました」との感想に、唐川宣幸企画委員長が「ここにいるみんなが先生、だれでも先生になれる」という言葉をいただきました。



平岡道敏さん④の紙芝居「おむすびころりん」・昔ばなし「ねずみのじょうど」に聞き入るあめほしたまこども園あお組さんと中之町さんさんサロンのメンバーたち（裏面へ）

4グループに分かれて議論する
参加者と議員



府中市議会(本谷宏行議長)主催の第13回「議員と語る会」が、10月14日(火)旭公民館2階集会室で開催されました。

加島広宣議員の司会で始まり、田辺稔副議長のあいさつの後、参加者18名と議員が4グループに分かれ、ワークショップ形式で議論を交わし、発表された主な内容は次のとおりです。地域住民と議会をつなぐ目線で列挙してみます。

- ・人口減対策として企業の誘致
- ・下水道がいつから使用できるか具体的な計画を示す
- ・子どもの通学路、歩道の整備が必要
- ・国府小学校、国府保育所は人気があり西之町は人口が増えている
- ・市の財政状況の説明会をもっとしてほしい
- ・事業は優先順位をつけて実施する
- ・公共施設の集約が必要
- ・専門学校の誘致をしてみたらどうか
- ・公共交通の必要性(中須町はぐるっとバスが来ない)
- ・議員には問題意識(情報)を共有してもらいたい
- ・市の大型事業の検証が必要
- ・高齢者の一人世帯が増加する中、行政として安全対策をどうするのか
- ・議員は議会ですっかりと議論してほしい
- ・未来を担う子どもたちへ大人が働く姿を見せることが大切

出席議員(順不同)

・加島広宣	・芝内則明
・広瀬和彦	・土井基司
・福田勉	・藤本秀範
・水田豊	・安友正章
・加藤吉秀	

今後「議員と語る会」は5会場で行われる予定で、全体の意見を取りまとめて議会の各委員会を通じて、取り扱いと回答をホームページへ掲載するとのことでした。

第15回 旭寄席 開催決定

開催日 令和7年

12月21日(日)

午後2時開演

開場 午後1時30分

場 所 旭公民館2階集会室

出演者 現在交渉中

決まり次第お知らせします

木戸銭 1,000円